サイバーだより

長野県警察シンボルマスコット
「ライポくん」「ライピィちゃん」

令和５年４月11日第５号

長野県警察本部
サイバー犯罪捜査課
０２６－２３３－０１１０

インターネットバンキング不正送金被害多発！
不用意にメールのＵＲＬは開かないで！

今年に入り、全国でインターネットバンキング不正送金被害が多発しています。
最も多い原因は、「フィッシングメール」による個人情報の流出です。
フィッシングメールは、有名企業をかたったメールやショートメッセージ等を送り付け、本文に記載したリンクからフィッシングサイトにアクセスさせ、インターネットバンキングの認証情報やクレジットカード情報、個人情報等を入力させます。
そうして入力させた情報を悪用して、犯人が個人のインターネットバンキングへ不正にアクセスし、金銭を不正送金して盗み取ります。
たとえ有名企業や取引のある金融機関等からのメールやショートメッセージであってもメールのリンクからはアクセスせず、ホームページに記載された連絡先へ直接電話をする等して確認しましょう。
また、メールを送信する事業者はフィッシングメール対策として「ＤＭＡＲＣ（ディーマーク）」の導入を検討してください。

「DMARC（ディーマーク）」とは、なりすましやフィッシングなどのサイバー攻撃から組織のドメインを保護するための電子メール認証システムです。
米国では業種によってDMARCの導入が義務化されています。
日本でも令和5年2月、経済産業省、総務省及び警察庁がクレジットカード会社等に対して、DMARCの導入をはじめとするフィッシング対策の強化を要請しています。
迷惑メール対策推進協議会がDMARCについてホームページで詳しく解説していますので参考としてください。

サイバー犯罪対策アドバイザーのコラム

長野県警察サイバー犯罪対策アドバイザー
信州大学不破泰副学長からの寄稿

最近、言葉巧みにハッカーが用意したＵＲＬに誘導し、開いたページにあなたの個人情報を入力させる、悪質な偽メールが多く確認されています。あなたが利用している会社を名乗っていても、ＵＲＬに誘導するメールはすべて偽メールだと思ってください。心配であれば検索サイト等で確認した正式な会社のサイトで確認しましょう。

～お知らせ～

長野県警察公式ホームページの「サイバーセキュリティ対策」には、サイバー犯罪の手口や被害にあわないための情報が掲載されています。是非ご覧ください。

https://www.pref.nagano.lg.jp/police/anshin/cyber/index.html